

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鎌倉あけぼの園		
○保護者評価実施期間	令和6年10月4日	～	令和6年10月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年10月4日	～	令和6年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性に合わせた支援活動プログラムの発案。	活動スペースでは互いを尊重し合える環境づくりを心がけています。複数の活動内容を提示することで、児童自身が選択し、意思決定の幅を広げられるよう配慮しています。さらに、体力発散を促す活動と、室内での機能向上を目的とした支援をバランスよく計画し、偏りのない支援を目指しています。	事業所では、児童が他者とのつながりを楽しく育みながら、自分の特性に合った安心できる放課後の居場所として過ごせるよう、環境づくりをどんどん進めています。みんなが笑顔でのびのび過ごせる空間を目指して、スタッフ一同心を込めて取り組んでいます。
2	立地を生かした地域活動や外出プログラムの取り組み。	これまであまり活用できていなかった事業所の立地環境を生かし、海岸や近隣施設の利用、近郊の観光地での買い物など、外出を伴う活動を取り入れています。これにより、児童が普段体験できない貴重な経験を得られるよう取り組んでいます。	鎌倉市や藤沢市の豊かな文化や芸術、歴史に触れる機会をもっと増やしていきたいと考えています。地産地消の魅力も楽しみながら、地域の素晴らしさを体感できる活動をどんどん企画していきます。みんなと一緒に、学びと発見に満ちた時間を過ごしましょう。
3	児童指導員歴を重ねたスタッフの割合が多く、安心のできる支援をおこなえること。	直接支援では、放課後等デイサービスでの経験豊富なスタッフが、過去の支援の成功例や失敗例を日常的に共有しています。これにより、事業所を利用する児童にとって、より適切な援助や介助が提供できるよう話し合いを重ねています。	ヒヤリハットの共有やアセスメント会議の時間をしっかりと個別に設けて、情報をもっと綿密に共有。そのうえで、より具体的で役立つ支援や指導をみんなで工夫しながら進めていきます。一人ひとりの笑顔を増やすために、チーム全員で力を合わせてがんばります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な資格所有者による個別療育への取り組みがおこなえていないこと。	専門的な有資格の職員が着任せず、専門的な見地からの支援がおこなえていない。	より良いサービスをお届けするために、将来を見据えて施設運営の経済面をしっかりと改善しながら、スタッフを増やすための前向きな取り組みにもチャレンジ。みんなで力を合わせて、支援の質をどんどん高めていけるよう、楽しく意識して進んでいきます。
2	地域交流の機会の少なさ。	地域でのイベントや自治体の活動に協力する機会が設けられず、地域の方々への活動周知が不十分になっている。	職員間会議では、地域支援について話し合う時間を作り、みんなで意見を交換したり、地域の情報をシェアしたりしています。地域のイベントや活動のスケジュールをしっかりとキャッチして、放課後の支援活動に活かせるものには積極的に参加を呼びかけていきます！地域とのつながりを深めながら、楽しい活動をどんどん広げていきます。
3	保護者様や社会に向けた、サービス内容の共有や公開の機会の少なさ。	事業所発信のイベントやワークショップ等を企画することが今まではなく、保護者や地域の方との交流の機会や支援活動の情報共有が進んでいない。	事業所でどんなサービスを行っているのかをもっとわかりやすく「見える化」して、外へ向けて発信する機会を増やしていきます。これにより、安心して利用していただけるサービスをお届けするとともに、地域の皆さまとつながる素敵な関係をどんどん広げていきたいと思えます。